

# 池田三男氏 町政3期目へ



## 就任の3期目へ

池田 三男

先の津野町長選挙におきまして、引き続き町政運営を担当させていただきましたこととなりました。無投票という結果は、私にとって、極めて重く受け止めているところで、今まで以上に、その重責を痛感しています。

結果におおることなく町民の皆さまの声にしっかりと耳を傾け、ともに議論をし、風通しの良い町政運営に取り組む所存であります。津野町は、人口5,794人の過疎高齢化という大きな課題をせおっています。自然、歴史、文化などさまざまな資源を豊富に持ち、活力を生み出す可能性をいっぴい持つ町であります。

これまでも融合から飛躍へと農林業の振興、子育て支援、学力向上対策、若者定住策、集落活動支援等々、元気な津野町を目指し地

域の特性を生かしたまちづくりを強みに推進してきました。

特に、人口減少の抑制と安定した年齢階層の維持を目指し、若者の住宅建設への助成や魅力ある子育て施策、特色ある教育環境の提供など、若者定住、子育て支援を重点に取り組んできました。その結果、30歳から45歳までの人口が平成25年の920人に対し、平成29年1月末で927人と増加しており、また、転入者と転出者の差で示す社会増減が、平成27年の56人減少に対し、平成28年は12人の増加に転じるなど、一定の効果が表れてきました。こうした流れを維持しながらに拡大していくため、平成27年に策定しました「第2期まちづくり計画」「津野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」をもとに実効性ある施策を強みに推進してまい

ります。

直販事業、6次産業化など攻めの農業の展開、町の9割を占める森林を生かす林業の振興、そして、昨年の奥四万十博で一定の手応えと自信が芽生えた観光振興など、地域資源を活かした産業振興の推進、また、「あつたかふれあいセンター」を中心とした見守り支え合い活動、コミュニティバス等の交通ネットワークの構築など安心して住み続けられるまちづくりを推進してまいります。

また、今、津野町では、各地域で活発な活動が行われています。包括連携協定を結んでいる高知県立大学、東京農業大学との連携も本格化します。地域活動をさらに支援し笑顔があふれ元気な地域を作り上げていきます。

そして教育では、平成25年から学力向上対策室を設置し、独自の教育改革を推進してきました。昨年の全国学力調査では、小学校においては、全国のトップレベルまでに達することができ、中学校においても確実な学力の向上を見ることができました。この津野町の次世代を担う子どもたちをしつかりと見守り、育てることが、私

たちの務めであり、この津野町で子育てをしたい、住んでみたい町として、若者の移住促進に繋がるものであります。

輝きはじめた津野町、この輝きを本物にすることが、私の3期目の目標であり使命であります。融合から飛躍へ、すべての町民が幸せを実感できる町、元気な町を目指し、全身全霊で取り組んでまいります。

町民の皆さまには、今まで以上に、ご支援、ご協力を賜りますようお願いを申しあげまして、ご挨拶とさせていただきます。

### 池田三男町長の略歴

須崎高校卒。昭和49年、旧葉山村役場入り。産業課長、総務課長などを歴任し、平成17年～平成20年に津野町助役、副町長。

平成21年2月の津野町長選で初当選。平成25年2月の津野町長選で無投票当選。62歳。白石甲